

移動スーパー

「売相場」をのぞく とくし丸の

神奈川県平塚市

軽快なテーマソングを流しながら、田園地帯や住宅街をめぐるカラフルな絵柄の軽トラックをご存じの方もいるだろう。移動スーパー「とくし丸」。ネットスーパーにはなじめない、現物を見て触って買いたい、というおばあちゃんたちの欲求にこたえ、全国で拡大中だ。

文・写真 編集部



平塚市の北部～西部は田園地帯。しまむらストアは神奈川県平塚市を中心に11店舗を展開する。1号車が拠点とする旭店をはじめ、計5店舗で5台のとくし丸が稼働



とくし丸とは

地方のスーパーマーケット、販売パートナー(個人事業主)、とくし丸本部の3者の提携により2012年に徳島県で始まった移動スーパー。軽トラックの特装車両に400品目1200点の商品を積む。現在、沖縄を除く全国46都道府県のスーパー134社で591台のとくし丸が走る。(2020年8月10日現在)さらに11社が開業準備中で、沖縄でも10月に稼働予定だ。

同行させてもらったのは、しまむらストアのとくし丸1号車

商品満載の荷台をのぞく

商品の積み方は、とくし丸を運転する「販売パートナー」により様々。ただし、お客さんが商品をすぐ見つけられるように一度決めた配置は変えないのが基本。

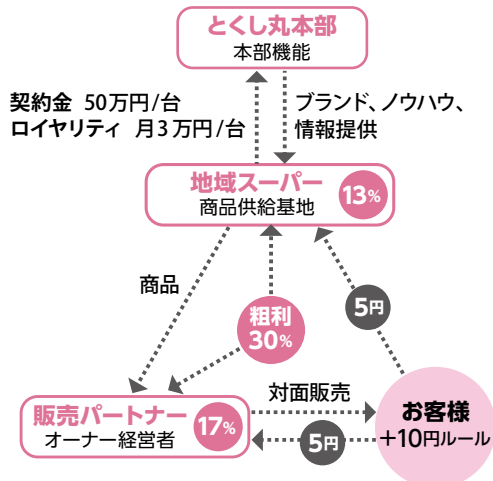
棚は、上段から菓子類やインスタント食品、中段は野菜、下段は惣菜。左のワイヤーネットには、ふりかけや歯ブラシ、歯磨き粉、入れ歯除菌剤、線香、祝儀袋、乾電池、チャッカマンなどの雑貨類

運転席側



とくし丸のしくみ

とくし丸本部が地域のスーパーと契約し、販売パートナーはその地域のスーパーと契約。すべての品物はスーパー店舗の価格より10円高く売るルールを設けており、それをスーパーと販売パートナーが5円ずつ分けあう。



商品の粗利（小売価格－仕入値）30%は店や商品によって変動するが、販売パートナーが17%を得る（小売価格の17%）のは固定。

後方



上段は緑茶、マヨネーズ、からしなどの調味料類、左端に洗剤。中段に果物、下段に缶・ペットボトル飲料、ソース・醤油のボトルなど。中段左端にレジ

助手席側



軽トラックに積む品物はすべてスーパーの店舗から持ち込む。精肉・生果・鮮魚・惣菜・卵など日持ちしないものの残りは、夕方5時過ぎに店に戻ったら売り場に戻す。傷まない品物は積んだままでOK。販売パートナーは在庫を持たずに移動スーパーを始められるし、スーパーにとっては外商部門を持つ利点がある。

ワイヤーネットに下がっているのは 飴・菓子類。その左に冷蔵庫（肉・鮮魚・牛乳・ヨーグルト・豆腐など）。冷蔵庫の上に米、パン、その奥にトレットペーパーなど